



# 梅田中だより

&lt;第3号&gt;

**5月**

引き続き、臨時休校となっています。  
学校の再開は6月1日（月）からです  
早く、通常の学校生活を送りたいですね

屋外では目に新緑がまぶしく、風薫る心地よい季節となりました。保護者の皆様はお変わりはないでしょうか。また、お子様の健康状態はいかがでしょう。発熱が続いたり、頭痛がするなどの症状が続いたり、大きな変化がある場合には、お手数ですが学校までご連絡ください。

通常ならゴールデンウィークも終わり、1学期のいろいろな行事に思いをめぐらしワクワクする時期です。しかし、今年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、社会では緊急事態宣言が発令され、学校でも群馬県の学校のみならず、全国で臨時休校となっています。今のところ群馬県では、今回の臨時休校は5月31日（日）までとなっており、6月1日（月）から学校が再開される予定です。

今回の臨時休校により、生徒の健康状態を確認する各種検診の日程の変更や、生徒が楽しみにしていた高原学校や修学旅行などの行事を2学期に変更するなど、1年間の計画に様々な影響が出ています。

しかし、これらの変更は、お子さんが学校における教育活動を安全に行うための措置であることをご理解いただきたく思います。少しでも早く元の学校生活が再開できるよう、今はできることをしていきましょう。

今、保護者の皆様が心配しているのは、子供たちの学習の状況だと思います。中学校でも課題を作成して、各家庭へ学年の職員が届けています。お子さんの課題への取組や進み具合はいかがでしょう。

中学校でも登校日が設定できれば、お子さんの現在の状況を把握しながら、細やかに対応ができるのですが、人との接触をできる限り避けることが求められている中では、なかなか難しい状況です。中学校としても、定期的に電話連絡を取ったり、お子さんからの相談に乗ったりと手を尽くしたいと思って実行していますが、ぜひ、ここは保護者の皆様にもお力をお借りしたいと思います。私たちと一緒に、この臨時休校中の子供たちの成長のために、子供たちがどうしたらよいか困っているような時には、声がけをして励ましていただき、学ぶ楽しさを継続していけるようにしていければと思います。



桐生市教育委員会でも、お子さんの学習する意欲を高めるために「桐生市子供の学び応援サイト」を開設して利用を募っています。この応援サイトには各教科の学習支援コンテンツの他、NHKの教養講座、そして群馬大学理工学部のwebページ、そして、桐生市独自のお子さんの家庭での学習に役立つ素材など、お子さんだけでなく、保護者の皆様方が見ても大変興味深い内容豊富なコンテンツがたくさん収録されています。ぜひ、一度、お子様と一緒にアクセスをしてみてください。インターネットの検索項目に「桐生市子供の学び応援サイト」と入れるだけでも、目的のページの一覧が出てきます。そこからクリックしてページの閲覧をしていただければと思います。

きっと、これまでのお子さんがもっていた興味関心に加えて、あらためて新しい物の見方や考え方が広がるよい機会となると思います。

**「桐生市子供の学び応援サイト」**

<http://www.sunfield.ne.jp/~kiriken/sien/message.html>



# 中体連春季大会の開催について

本来であれば、4月18日（土）より、桐生市中体連の春季大会が順次、各種目の競技が実施される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本当に残念ですが中止となりました。

保護者の皆様におかれましては、応援や送迎等で大変お世話になるはずでしたが、次回の夏季総体であらためてお世話になればと思います。

どの生徒も昨年の新人戦以降、練習してきた成果を、精一杯出せるよう準備をしていたことと思いますが、本当に残念です。

3年生にとっては、夏季大会を残すのみとなります。後悔の残らないよう、学校が再開した後は部活動に打ち込んでほしいと思います。

夏季総体のステージで最高のパフォーマンスを発揮できるよう準備をしてほしいと思います。

なお、梅田中の部活動の方針については、Webページにも掲載しております。保護者の皆様には、適正な部活動の運営へのご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。



## 部活動の方針

- 週あたりの休養日の設定
    - ・週2日以上（月と土・日のいずれか1日の）の休養日の設定
  - 長期休業中の休養日設定
    - ・長期休業の意義を考慮して、土・日は休養日とする。
    - 十分な休養と部活動以外の多様な活動が行うことができるよう、ある程度、長期の休養期間をもうけること。
- ※大会等により、やむを得ず土・日曜日に活動する必要がある場合は、代替休養日を設定する。

## ご存じの方も多いかもかもしれません

右の絵は「アマビエ」という、日本の江戸時代から伝わる半人半魚の妖怪だそうです。光り輝く姿で海中から現れ、豊作や疫病などの予言をすると伝えられています。

江戸時代の弘化3年（1846）4月頃に肥後国（現在の熊本県）の海に毎晩のように光るものが出没するため役人が向かったところ、このアマビエがいたという記録が当時の瓦版（現在の新聞）に残されているそうです。

この先の6年間の豊作を予言するとともに「病気が流行することがあれば私の姿を絵に描いて人々に見せよ」と告げたとされています。新型コロナウイルス感染症が早く収束することを願い、インターネットの様々なページに登場をしているとのこと。見たことのある方もいるかもしれません。ちなみに、既に他界している「ゲゲゲの鬼太郎」の作者の水木しげる氏も、このアマビエを描いていたそうです。



【京都大学附属図書館蔵】